

## 内水ハザードマップとは

近年、下水道や道路側溝・水路等の排水施設の能力を超える局所的で短時間の強雨(集中豪雨やゲリラ豪雨)が頻繁に起こり、河川等への円滑な排水ができず、浸水(内水による浸水)被害がたびたび発生しています。

市民のみなさまに「内水による浸水」の正しい知識や避難方法などの情報を提供し、浸水(内水による浸水)被害への対処等を目的として「**内水ハザードマップ**」を作成しました。  
「**洪水ハザードマップ**」をはじめとした各種ハザードマップとあわせて、わかりやすいところに保管をお願いします。



## 「内水による浸水」と「外水による浸水」の違い

### ☔ 内水による浸水



短時間の強雨(集中豪雨やゲリラ豪雨)などにより、下水道・道路側溝・水路などの排水施設から円滑に河川へ排出しきれず、そこから雨水が溢れだし浸水が発生することです。浸水は身近な場所や、河川から離れたところでも発生します。

### 内水ハザードマップ

### ☔ 外水による浸水








広範囲にわたり大雨が降ることにより、河川水が増水し、河川堤防から水が溢れだしたり、堤防が壊れたりして、河川の水が住宅地などに流出することにより浸水が発生することです。

### 洪水ハザードマップ

# 雨の降り方と雨量について

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難できるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

## ☔ 雨の降り方と強さの目安

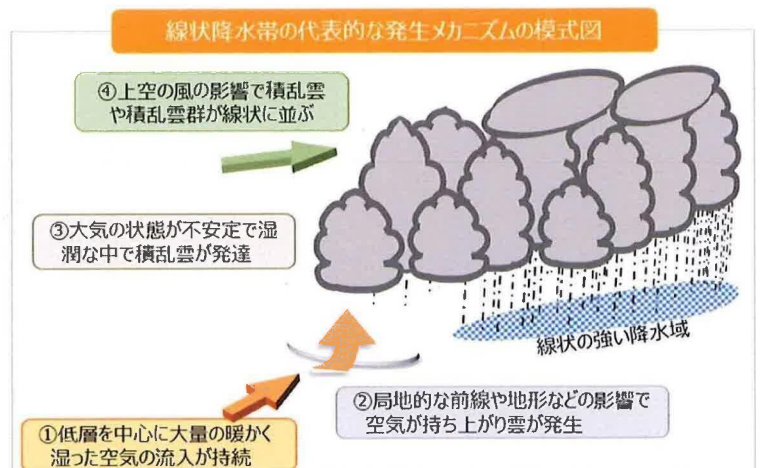
屋外の様子		雨の様子		雨量
猛烈な雨	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		<ul style="list-style-type: none"> <li>息苦しくなるような圧迫感がある</li> <li>恐怖を感じる</li> <li>車の運転は危険</li> </ul>	1時間に80mm以上
非常に激しい雨	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		<ul style="list-style-type: none"> <li>滝のようにゴーゴーと降る</li> <li>傘はまったく役に立たなくなる</li> <li>車の運転は危険</li> </ul>	1時間に50～80mm
激しい雨	道路が川のようになる		<ul style="list-style-type: none"> <li>バケツをひっくり返したように降る</li> <li>傘をさしてもぬれる</li> <li>高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる</li> </ul>	1時間に30～50mm
強い雨	地面一面に水たまりができる		<ul style="list-style-type: none"> <li>どしゃ降り</li> <li>傘をさしてもぬれる</li> <li>ワイパーを速くしても見づらい</li> </ul>	1時間に20～30mm
やや強い雨	地面一面に水たまりができる		<ul style="list-style-type: none"> <li>ザーザーと降る</li> <li>地面からの跳ね返りで足元がぬれる</li> </ul>	1時間に10～20mm

出典：気象庁ホームページ

## ☔ 線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50～300km 程度、幅 20～50km 程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。

線状降水帯が発生すると、大雨災害発生危険度が急激に高まるため、心構えを一段高めていただくことを目的として線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行います。



出典：気象庁ホームページ

## 避難行動について

### 立ち退き避難

(水平避難)

or

### 屋内安全確保

(垂直避難)

早めに避難所や避難場所に逃げる「立ち退き避難」をイメージされますが、状況により、その場に留まり、2階などに避難する「屋内安全確保」が有効な場合があります。

#### ▲ 今いる場所を確認

- ・ 高く安全な建物にいる場合は、そのまま留まるか、より高い階へ避難することも有効です。
- ・ 低い土地や地下空間などにいる場合は、浸水が始まる前に速やかにその場所を離れる必要があります。

#### ▲ 雨の降り方を確認

- ・ 局所的で短時間の集中豪雨の場合、短時間で被害が発生しますが、短時間で水が引く場合が多いため、**屋内安全確保**も有効と考えられます。

#### ▲ 浸水状況を確認

- ・ すでに浸水が始まっている場合は、外に出ることで身の危険が高まることもあるため、**屋内安全確保**の検討も必要です。状況により立ち退き避難が必要なときは、足元に注意して避難しましょう。浸水深 20cm以上では車の移動が困難になるため、車での避難はやめましょう。

#### ▲ 時間帯を確認

- ・ 夜間の避難は、足元が確認できないなどの危険性が高まるため、**屋内安全確保**の検討も必要です。

上記の内容を総合的に判断して、その場にあった避難方法をとってください。  
また、大雨や台風時は**河川水位が上昇**し洪水が発生する危険性が高まりますので、「**洪水ハザードマップ**」により避難所等や避難方法を確認してください。

### 道路が浸水している場合の危険箇所



坂道では、水深が浅くても水の流れが速くなるので危険です。



側溝などが見えにくく落ちて流される危険があります。

# 災害情報の収集について

大雨が降ったらどうしたらいいのか、持ち出し品の準備や情報の入手方法なども確認し、日頃から浸水に備えましょう。

## 防災情報・災害情報の入手先

防災情報や災害情報は、以下の方法で入手することができます。

### くだまつメール

配信サービス 

気象警報や防災情報をメールで一斉配信しています。

#### 〈登録方法〉

1. 下記登録用メールアドレスに、空メールを送信。  
QRコードを読み取るとメールが起動します。
2. 受信した(返信)メールに記載されたURLにアクセスし、画面の案内に従って情報を入力してください。
3. 登録完了!  
登録を完了すると確認メールが送信されます。

〈登録用〉[kudamaru.kudamatsu-city@raid3n3.ktaiwork.jp](mailto:kudamaru.kudamatsu-city@raid3n3.ktaiwork.jp)



左の二次元コードでアドレスを読み取ることも可能です。

### 下松市 電話応答サービス

防災行政無線の放送内容を聞くことができます。

☎ **0833-48-5007** (自動音声案内)

※通話料金はご利用される方の負担になります。

### 下松市 防災ラジオ

災害時などに自動起動し、最大音量で市や国からの緊急放送が流れるラジオです。市では防災ラジオの有償譲渡を行っていますので、希望される方は防災危機管理課までご連絡ください。

### 防災やまぐち

山口県の防災情報ポータルサイトで、県内の災害情報、気象情報等を確認することができます。



## 家庭でできる浸水対策

### 浸水対策



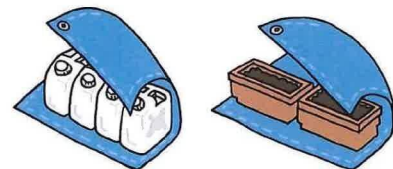
#### ● 土のう

出入口に土のうを設置することで、家屋への浸水を防ぐことができます。



#### ● 止水版

水のうと長めの板などを組み合わせて、家屋への浸水を防ぐことができます。



#### ● その他の代用品

プランターや水を入れたポリタンクを並べ、レジャーシートで包むことで、家屋への浸水を防ぐことができます。

### 側溝や雨水ますの清掃

側溝や雨水ますから雨水を集めており、ごみや落ち葉が詰まると水が流れにくくなるので、近くの側溝や雨水ますの清掃にご協力をお願いします。

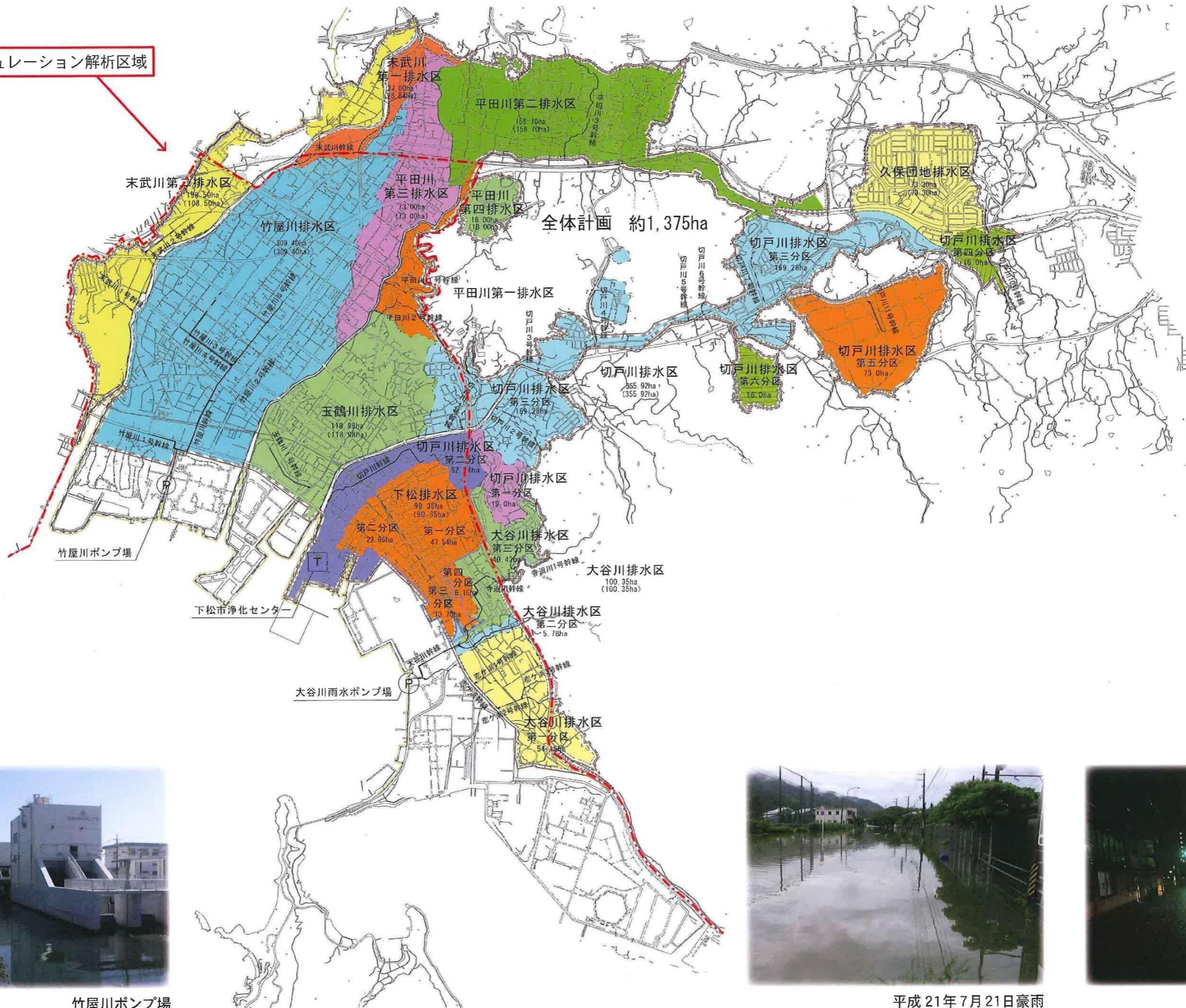
また、プランター等で雨水ますをふさいでしまうと、道路上に水があふれてしまうため、物を置かないようにしましょう。



出典：国土交通省ホームページ

# 下水道計画一般図(雨水)

浸水シミュレーション解析区域



竹屋川ポンプ場



平成 21年 7月 21日 豪雨



平成 30年 7月 5日 豪雨